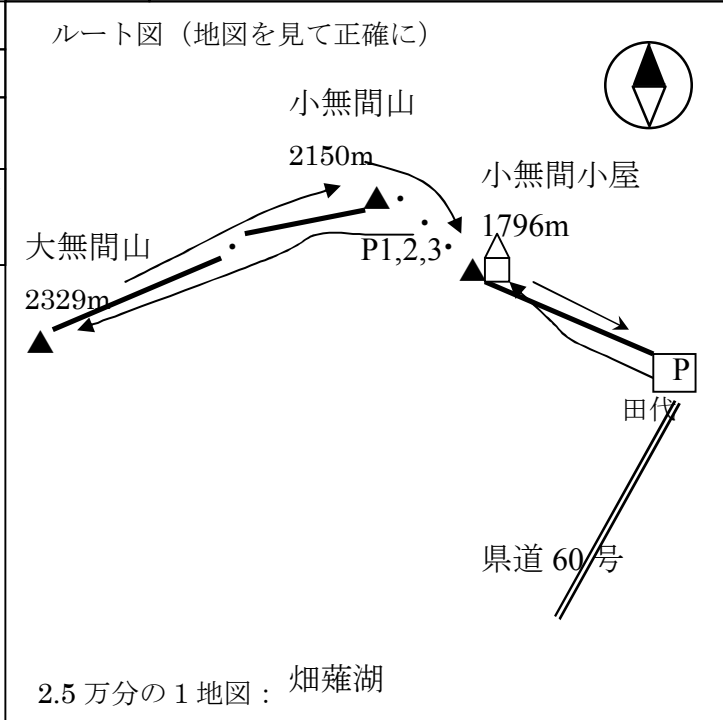


8 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL : 中山 正夫
		報告日	8/26		
山 域	南アルプス深南部	山行日	09年 8月 8日(土)～ 9日(日)		
山 名	大無間・小無間山				

山行目的	バイク単独で南アルプス深南部を探访	コースタイム (天候 : 天気図記号)
------	-------------------	---------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙:集会 担当者	



8/8(土) 晴れ  
 03:00 自宅発 → 三ヶ日  
 362 号 → 春野 → 川根 → 井  
 川 → 田代駐車場 7:30 着  
 07:40 諏訪神社  
 08:30～45 休憩  
 10:00～20 休憩  
 11:45～55 休憩  
 13:00 小無間小屋着  
 17:30 食事  
 20.20 就寝  
 8/9(日) 晴れ  
 03:00 起床  
 04:35 小屋発  
 05:30～45 休憩  
 06:40～55 休憩  
 07:21～30 小無間山頂上  
 08:30～50 休憩  
 09:45 大無間山頂上着

10:00 頂上登  
 11:03～15 休憩  
 12:10 小無間山通過  
 12:45～55(P3)休憩  
 14:00 小屋着(撤収)～20  
 15:25～35 休憩  
 16:25 諏訪神社  
 17:00 田代駐車場着  
 島田 → 相良牧之原 IC → 音  
 羽蒲郡 IC  
 22:00 自宅着



〈山行報告〉8/8(土)3:00 バイク自宅発で 362 号を春野町、川根本町、井川と走り田代登山口駐車場に駐輪 7:30。諏訪神社にて 2 リットル水を追加(酒ビールを含めて合計 6 リットル)として桧の植林をジグザグに登っていく。広葉樹の中を赤テープに導かれて急尾根を登っていくが、体調がわるいのか、水が重いのか、バテバテで小無間小屋 13:00 着。何人も小屋を通過するが、結局泊まりはひとりとなった、20:20 就寝。  
 8/9(日)4:35 懐電を点けてサブザックにて出発、鋸歯と名前の付いたアップダウンの激しいキツイ尾根を P(ピーク)3,2,1 と越えていく。本峰の小無間に 7:21 に着くが、本日も体調快復せず、苦しい登山となった。これで、全コースの半分やっと来た、なんと大無間は遠いことか、下山も考えたが、今回を逃がしたら二度と登れないだろうと考え、行くことに決める。緩やかにアップダウンを繰り返し、中無間山は印象薄く通過し、大無間山 9:45 着。頂上は広いが、眺望は木が高いため悪い、少し戻って切開きにて、光、聖方面を遠望する。来た道を延々と戻り、小屋 14:00 着、すぐパッキングして、14:20 下山開始。1 回休憩して、諏訪神社 16:25 着、おいしい湧水を飲んで息を整える。田代登山口 17:00 着、バイクにて自宅 22:00 着。

(感想)今回は、体調が悪く、ただ、ただ暑くて、苦しく長い山行だった。夜明け前から夕方 5 時まで、行動してやっと下山できたのはよかったが、鋸歯尾根がキツてもう一度登りたいとは思わない山だった。大無間に登るには、小無間までのピーク越えていかに、体力を温存できるかが、鍵だと思う。本当にぎりぎり登れた。

〈リーダー所見〉  
 よその記録を読むと日帰りで大無間山を登っているらしいが、とても私には無理だと思った。秋の涼しい頃に空身で登れば、あるいは、自分でも行けるかも？、でもこの体調では自信がない。次の山に向かってトレーニングを積んでいこうと思う。

蛇のゆくえ樹間はるかに大無間  
 夕もやの中へ下山者モノクローム  
 小屋にひとり窓うつ音は夜の怪  
 P2P1 と汗まみれまだ小無間  
 沖仙

確認 (リーダー)	中
	09/08/18
	山
作成 (報告者)	中
	09/08/18
	山